

Topic: Bridgestone Designの取り組み

ブリヂストンにおいてデザインは、創業、第二の創業の中で重要な役割を果たし、当社グループの企業活動を牽引してきました。1984年に行った新コーポレートアイデンティティ、ブリヂストンロゴ、Bマークの導入は、単なる意匠デザインではなく、会社の体質を名実ともに新生するものと当時位置づけられ、その後のグローバル化を支えるものになりました。

現在の第三の創業、Bridgestone 3.0において、Bridgestone Designは、「2050年 サステナブルなソリューションカンパニーとして社会価値・顧客価値を持続的に提供している会社へ」という当社グループのビジョンの実現に向け、以下3つの分野で「Bridgestone E8 Commitment」の社内外への浸透と実行に貢献しています。

- ・ デザイン戦略: グループグローバルのブランド価値向上に貢献するデザイン施策の企画・遂行
- ・ コーポレートデザイン: ブランド価値を高めるお客様のブランド体験のUX(ユーザーエクスペリエンス)デザイン開発
- ・ プロダクトデザイン: 「断トツ商品」の開発・イノベーションに貢献するプロダクトデザイン開発

「円の美学」の追求

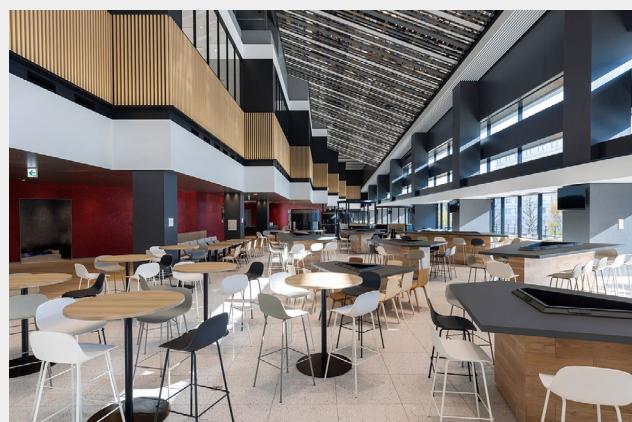
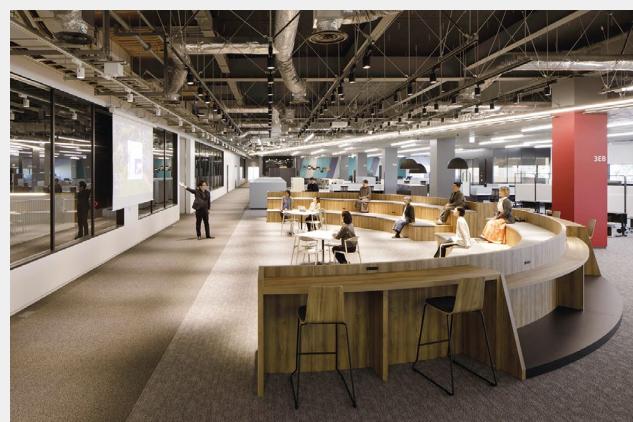
タイヤをはじめ、自転車やスポーツ用品など、ブリヂストンがこだわる商品の機能美について、特に「円」、「循環」にフォーカスしてサステナブルな未来への思いを表現したビジュアルシリーズが「円の美学」です。2018年からブランド表現の研究を開始し、当初はカレンダーとして国内外の多くのコンクールで入賞を果たしました。現在では、ブリヂストンらしいブランド表現の一つとして各事業拠点での企画展示や刊行物などに幅広く活用されています。



企画展「円の美学」

空間デザインへの領域拡大

ブリヂストンらしいお客様体験の提供を実現すべく、空間デザインへのBridgestone Designの参画も進めています。東京・小平に竣工した「Bridgestone Innovation Park」では、施設デザインをはじめ、エントランス、ワークスペース、サインシステムや展示などに関わり、新しいブランドアイデンティティの実装やブリヂストンらしいお客様体験の提供にデザインの観点から貢献しています。



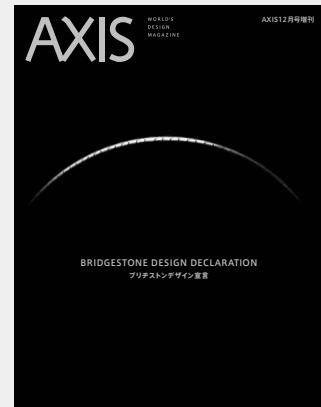
コーポレートフォント「Bridgestone Type」の開発

当社独自のコーポレートフォント「Bridgestone Type」は、Bridgestone Design独自のデザイン開発手法を用いて、当社のブランドパーサス「社会の進歩に貢献する」を実現するための3つのアプローチ「Care:安心」、「Confidence:信頼」、「Creativity:創造力」をフォントの機能や形状で具現化しています。

フォントはコミュニケーションの基盤となることから、ブリヂストンらしさに加えて、汎用性、視認性、判読性を確保すべく、2014年から表現研究を重ねてきました。2021年にはこのプロジェクトが評価され、グッドデザイン賞を受賞するなどデザイン業界からも注目を集めています。また、当レポートは「Bridgestone Type」を使用しています。

AXIS増刊号「ブリヂストンデザイン宣言」の刊行

当社の歴史上のデザインの貢献に光を当て、プロダクトデザインや広告デザインに共通する「らしさ」を見つめ直し、未来のブランド表現に活かす取り組みの第一弾として、2021年12月にデザイン誌「AXIS」のご協力のもと増刊号「ブリヂストンデザイン宣言」を刊行、当社のデザインの取り組みを社外に発信すると共に、全社で共有しています。



Bridgestone Designではデザインによる経営戦略への貢献とブランド価値向上、さらなるイノベーションへの貢献、そして様々なステークホルダーの皆様からの共感へつなげる信頼の醸成を目指し、今後も本質の探求を進めていきます。